

## 市民の皆様へ

今般の新型コロナウイルス感染症はかつてないほどの拡大を起こし、市民の皆様は、より一層不安な日々をお過ごしのことと思います。

昨今では、マスコミ報道などにより、感染リスクの高い職業として歯科医師、歯科衛生士などが挙げられていますが、幸いにして我が国では、新型コロナウイルスが歯科診療により患者さんへ感染した報告は1例もありません。歯科医療の現場では、マスク、グローブ着用はもとより、滅菌などの感染予防に努めています。また、術前のイソジンなどによる含嗽は感染予防に効果があると言われてしています。

歯科診療の中断は、口腔衛生状態の低下を招き、免疫力の低下や細菌性肺炎のリスクを高める恐れがあります。さらには新型コロナウイルス性肺炎に罹患した際、重症化しやすくなる可能性もあります。介護現場等での口腔環境の悪化は、特に肺炎重症化のリスクを高めます。誰もが新型コロナウイルス感染症にかかる可能性がある時だからこそ、「命」と「身体」を守るためにも、口腔ケアが大事であると言えます。

歯科診療は「生命を守る」医療です。診療の継続・延期、メンテナンスの継続・延期など、ご自身での判断をなさらずに、かかりつけ歯科医にご相談ください。

市民の皆様には、御手数をおかけする場面もあろうかと思いますが、皆様の身体の健康、お口の健康を守る事が、福岡市歯科医師会の責務です。

感染拡大防止のために感染予防策の徹底を周知し、市民の公衆衛生の維持向上に努めていきたいと存じます。

福岡市歯科医師会